

大阪府

二条城

兵庫県

芥川山城

大阪城

飯盛山城

岸和田城

千早城跡

奈良県



54 大阪城

--- 100名城 ---
2018.12.12



54 大阪城

--- 100名城 ---

今回の大阪城巡り(見学)という意味では2回目です。1回目は在住15,6年目にして初めて子供と見学した次第で、いつでも来れると思うと・・・、そういうことですネ。久しぶりの懐かしさに、梅林公園など大阪城周囲を散策しました。

それ以外の大阪城周辺へは、職場の花見宴会や、ツイン21無かりし時のP電工ショールームなどです。大阪城公園や梅林公園など昔の記憶が蘇ります。

FB-029



公園内遊覧車



梅林公園



2D城郭テータ(画像)



55 千早城

--- 100名城 ---

2019.6.16



FB-030

55 千早城跡

パナソニックの旧ドメインOB会が京橋の京阪ホテルで有り、そのついでに千早城跡にやってきました。

千早城は私は全然知らないで、少しだけ調べてみました。ご紹介します。

時代は鎌倉時代末期。幕府を倒すため後醍醐天皇方の楠木正成が金剛山一帯に赤坂城(下赤坂城)・楠木城(上赤坂城)などからなる城塞群を築き、本城の上赤坂の背後に築いた詰城が千早城。100万の鎌倉幕府軍に対し1000人足らずで100日間耐えた難攻不落の城とのことですが、それが滅びたのは何と兵糧ではなく「水」です。幕府側の賢者の助言により水路が断たれ、城兵らは渴きに苦しんだようです。幕府軍の100日間釘付けとなっていた間に、鎌倉では新田義貞の裏切りにより滅亡へと追い込まれていくという、何とも歴史は儚くまた面白いものです。以上です。

この千早城登城口は金剛山登山の登山口にもなっており、P松愛会交野支部山歩会で金剛山に登った時(2012.5.17)に、ここから登っているはずですが、気が付きませんでした。



千早城ジオラマ



金剛山頂へ



楠木正儀(正成の三男)の墓



千早神社



千早城復元模型



金剛山頂(国見城跡)にて・・・パナソニック松愛会・交野支部・山歩会(2012.5.17)



三ノ丸「千早城址」

159 芥川山城

--- 続100名城 ---
2018.12.12



芥川山城

大阪方面の残り3城(+和歌山城)を一気に巡るためやってきました---スタンプだけは高槻駅に近い歴史館で昨年(2018.12月)押印しています。この名城巡りで初めて芥川山城を知ったわけで、WEB等資料からまとめたものをご紹介します。

位置的には京都と大阪のちょうど中間点で、地図にあるように淀川の北側で、同川の南側には飯盛山城(次の名城紹介予定で、三好長慶が後に移ったお城です。)の両城で大阪平野(摂津)に睨みを利かした三好一族(三好三人衆で有名)の時代が全盛でした。

この城は北・西・南の三方を芥川で囲まれて、急崖の上、天然の要害として築城され、東西約500メートル×南北約400メートルに及び、規模は大阪府下で最大級を誇ります。石垣を多用する江戸時代の城とは異なり、戦国時代の城は土づくりでした。このような構造の城郭を「連郭(れんかく)式山城」と呼び、戦国時代の城郭の典型例です。

また、飯盛山城も共に大阪府下では最も規模が大きな城跡で、遺構の残存状態も良好とのこと。

高槻には現高槻市内に高槻城跡(歴史館)があり、芥川山城の支城となっていたようで、長慶死去後織田信長の摂津侵攻時、無血開城で降伏したとのこと。

こうしてみると歴史は面白いですね! 特に戦国時代! ---

芥川山城跡(別名城山)

本丸跡から大阪(高槻)を望む




160 飯盛山城

--- 続100名城 ---
2019.8.6



津 撮

千提寺 

FB-032



160 飯盛山城

ここは福井へ引越前に住んでいた交野市(かたのし)に隣接の四条畷市(しじょうなわて)にあります。

前回の芥川山城でご紹介しました三好長慶が移り住んだお城で、淀川を挟んで北・南から大阪一带に睨みを利かせていました。また、交野城は飯盛山城の支城で、何と私が住んでいた所から10分弱の所だったのですが、実は行っていません。当時は知らなかったのと、興味がなかったことですかねえ！

確かその辺りは竹林に覆われ、表示らしきものはなかったように(あっても気にしなかったかも)思います。

飯盛山へは山歩会で2014.12月納会で登っています。



楠木正行像

四条畷市立歴史民俗資料館



四条畷(しじょうなわて)神社

楠木正行を祀っている



飯盛山頂上(標高314.3m)
ハナソニック松愛会・
交野支部・山歩会(2014.12.18)



福井へ引越す前の家から歩いても10分弱の所に交野城跡があります。その一帯は竹藪でまさかそんな城跡があるとは---

161 岸和田城

--- 続100名城 ---

2019.8.6



別名:千亀利城(ちきりじょう)

岸ノ和田城、
滕城、
蟄亀利城

FB-033

161 岸和田城

いよいよ大阪府(5城)も最後となりました。”岸和田だんじり”で有名な岸和田市の岸和田城です。

南海岸和田駅から岸和田城へ向かって歩いていると、ちょうどだんじり祭りの準備等で線路横・道路脇には協賛広告の提灯塔が目に入ってきて、見ているだけで昂揚感を覚えます。

「岸和田だんじり祭り」は岡部氏3代・長泰の時代にはじまったといわれています。

大阪河内と云えば、やはり楠木正成ですね。正成が甥の和田高家に城を築かせたのがはじまりとされ(岸和田古城)、羽柴秀吉の紀州征伐の拠点として再築城、江戸時代には徳川家康の妹の子である岡部宣勝が入城し、岡部氏13代の居城となりました。

次回、和歌山県(2城)になります。



岸和田城絵図

本丸と二ノ丸を合わせた形が、機の縦糸を巻く器具「藤」(ちきり)に似ていることから蟄亀利城(後に千亀利城)と呼ばれるようになった。



岡部氏の碑



「岸和田だんじり祭り」協賛広告の提灯塔